

# 小委員会の調査報告書

<p>教科名</p>	<p>音 楽 科</p>	<p>委員長名 佐 藤 修</p>
<p>調 査 研 究 の 経 過</p>	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回選定委員会を7月1日(火)に、稚内市役所で開催し、音楽小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月2日(水)から7月11日(金)まで、「教科書見本本」、「教科書編集趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回選定委員会を7月14日(月)に、稚内市役所で開催し、報告書の作成を行った。なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、教出、教芸の2者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱い内容」について</p> <p>(2) 「内容の程度・配列・分量等」について</p> <p>(3) 「使用上の配慮」について</p> <p>(4) 「その他」</p>	
<p>調 査 研 究 に 当 た っ て の 配 慮 事 項</p>	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、既に学習した内容の系統的な反復学習や練習問題などによる繰り返し学習に関する内容、観察・実験やレポートの作成に関する内容、他教科との関連する内容、補充的な学習や発展的な学習に関する内容、実生活・実社会に関する内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・配列、分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・配列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>(2) 内容の分量が、領域等ごと、全体としてどのようにになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高める工夫がなされているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫がなされているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>4 「その他」について</p> <p>上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
<p>少 数 意 見 そ の 他</p>	<p> </p>	

様式 2

教科名		音 楽				
	出版社名	教科書名	番 号	出版社名	教科書名	番 号
		教 出	音楽のおくりもの	1 7	教 芸	小学生の音楽
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領に定められた学習内容を確実に習得できるように、系統的に学習内容を配置し、着実に基礎・基本が身に着くように精選・焦点化されている。</li> <li>○伝統文化を尊重し、我が国の伝統音楽や郷土の音楽、我が国の楽器、共通教材を中心とした唱歌等の扱いを重視している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領に定められた学習内容を確実に習得できるように、系統的な題材設定のもと、知識・理解を深め、思考力・判断力・表現力の育成を考慮した構成となっている。</li> <li>○我が国の音楽の良さを知るため、日本の音楽に関する題材を設定し、我が国の音楽文化に日本人としての誇りを持つことができるように工夫されている。</li> <li>○「音楽づくり」の教材を大幅に充実させ、題材内で歌唱、器楽、鑑賞と関連させながら、確実に授業で取り上げられるよう工夫されている。</li> </ul>		
内 容 の 構 成 ・ 配 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○題材群1（基礎的内容）と題材群2（習得・活用の観点）で組織的・系統的に構成され、無理なく学習ができるよう配慮されている。</li> <li>○児童の関心・意欲を引き出すため、見開きごとのねらいに即した表現教材や鑑賞教材を様々な時代や曲種から厳選して配列している。</li> <li>○内容の分量については、適切であり、総ページ数は前回より3～11%増となっている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○6年間を通して段階的、系統的に学びが発展するように教材が配置され、学習の目標を明確に示すことで、学習の見通しが持てるように構成されている。</li> <li>○前の学年の学びが次の学年の学びにつながるように題材が配置されており、「学びがつながり」を重視した配列となっている。</li> <li>○内容の分量については、適切であり、総ページ数は前回より4%増となっている。</li> </ul>		
使 用 上 の 配 慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に「音楽家からのメッセージ」や巻末に豊富な資料を掲載したり、北海道民謡のソーラン節を歌唱と器楽の教材として取り上げたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○目次の主要教材ごとに「学習のねらい」や共通事項のマークを示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○「音楽のもと・まとめ」に共通事項や巻末の折り込みページに「リコーダーの運指表」と音符・休符、記号などを掲載したり、イラストの配色や囲みの形状を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に「音楽プリズム」や巻末に「音楽の歴史をつくった人」を位置づけたり、北海道民謡「ソーラン節」を鑑賞教材として取り上げたりするなど児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○目次の主要教材ごとにねらいに迫るための具体的な学習目標を示したり、キャラクターの吹き出しにより活動のヒントを示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○鍵盤楽器の指使いがわかる手のイラストを使用したり、巻末には各学年の重要な学習内容を「ふりかえりのページ」として位置づけたり、イラストの配色や囲みの形状を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>		
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低学年に使用される透明シートは、児童の関心・意欲を高める工夫がされている。</li> <li>○ポータフォリオを設定し、言語活動の充実を図っている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○イラストや写真は鮮明であり、視覚的に有効である。</li> </ul>		